

調達管理番号・案件名

24a00906_バングラデシュ国ハオール地域レジリエンス強化・開発事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS - ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年1月24日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	13	第3条(3)参考資料	公開資料として示されている資料のうち、いくつかは公開日付の新しい最新版が存在しますが、企画競争説明書に記載の年度版と最新版のどちらを参照すればよろしいでしょうか。	最新版をご参照ください。
2	17	第3条(9)日本の研究者との共同作業	日本人専門家（JICA専門家）や研究者を調査団内に配置する形でも問題ないでしょうか。	日本人の専門家や研究者を調査団内に配置することは可能です。なお、JICA専門家を配置する場合は、プロポーザル作成ガイドライン48ページに記載の利益相反に該当しないかご留意の上、配置をご検討ください。
3	58	第3章、2業務実施上の条件、(2)業務量目処	“契約開始直後に現地でのキックオフミーティングに可能な限り参加できるよう現地渡航を調整すること”、とあります。今年は3月中がラマダで、Eid Holidayが3月30-31日ごろになると思います。キックオフミーティングはEid Holidayの後になるでしょうか。ラマダン期間中のキックオフミーティングもあり得るでしょうか。	本キックオフミーティングについてはオンラインでの開催もしくは、ラマダン期間中も含め現地開催の可能性も検討しております。実際の日程については、契約交渉時等にご相談させて頂く予定です。
4	60	第3章、2業務実施上の条件、(5)対象国の便宜供与	執務室はLGEDとBWDBそれぞれが提供するのでしょうか。その場合、団員は分かれて作業を行うのでしょうか。またはどちらかの執務室をメインとして、全調査団員が一つの執務室に集まって作業を行うことは可能でしょうか。	BWDBとLGEDはそれぞれが執務室を提供いたします。BWDBの執務室(ダッカ)は4名程度、LGEDの執務室(ダッカ)に関しては10名程度が作業できるスペースとなる予定です。

以上